

# 経営比較分析表（平成30年度決算）

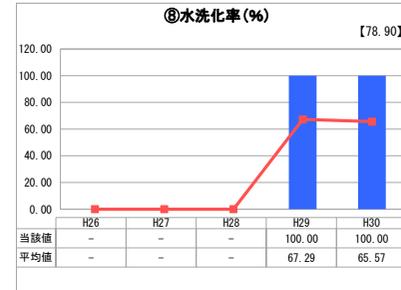
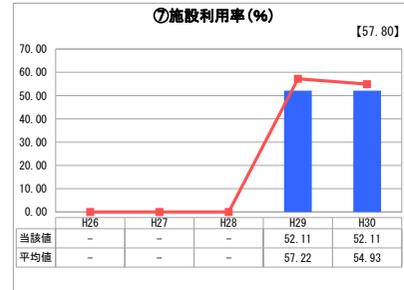
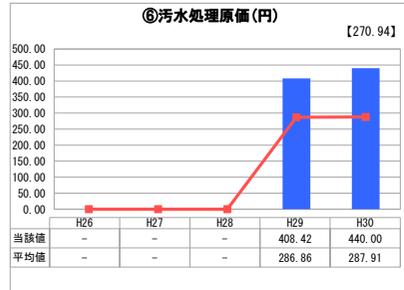
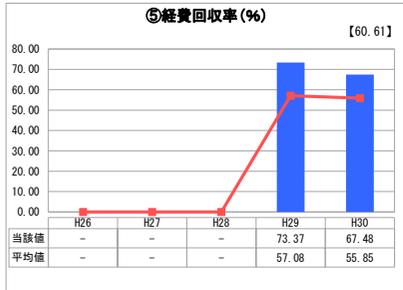
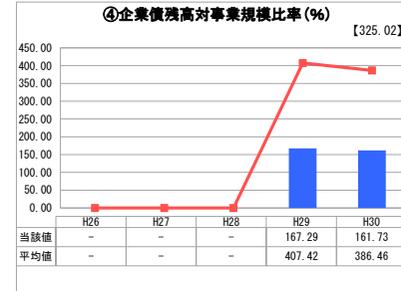
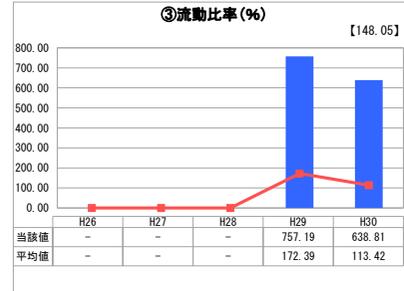
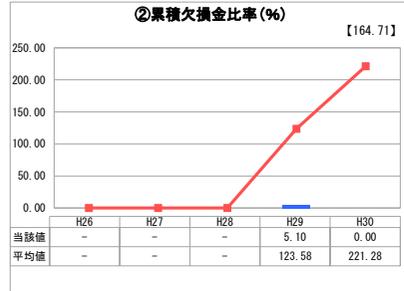
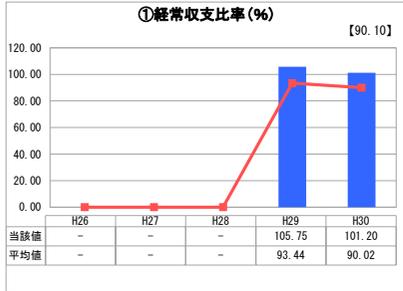
三重県 伊賀市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K3	自治体職員
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金 (円)
-	44.78	0.75	100.00	5,400

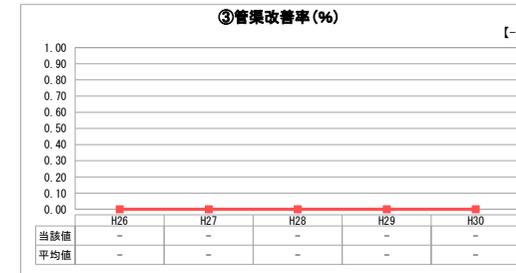
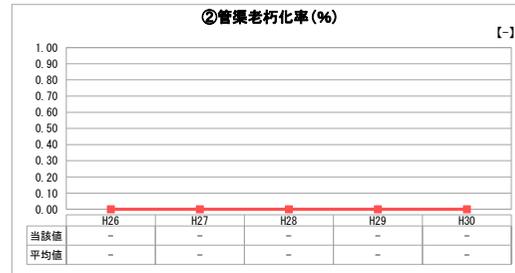
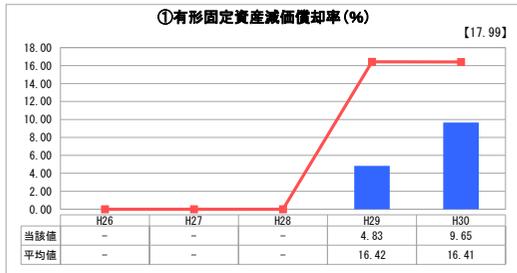
人口 (人)	面積 (km <sup>2</sup> )	人口密度 (人/km <sup>2</sup> )
92,197	558.23	165.16
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度 (人/km <sup>2</sup> )
687	20.75	33.11

グラフ凡例
■ 当該団体値 (当該値)
— 類似団体平均値 (平均値)
【】 平成30年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率については、黒字であり、料金収入や一般会計繰入金等の収益により維持管理費等の費用を賄えているが、一般会計繰入金への依存傾向が強い。

企業債残高対事業規模比率については、今後事業の拡大は予定していないため、低減傾向で推移していくと考えられる。

経費回収率については、類似団体平均値よりは高いものの、汚水処理費が使用料金により賄われておらず、適正な使用料金収入の確保等の取り組みが必要である。

施設利用率については、類似団体平均値とほぼ同等の値となっているが、実際の処理水量より大規模な能力を有する処理槽を使用している世帯が多いこと等により、低い数値に留まる傾向にある。

### 2. 老朽化の状況について

現在、市町村設置型合併浄化槽を240基設置管理しており、資産の老朽化度を示す有形固定資産減価償却率は類似団体平均値より低い値であるが、最も早いもので供用開始から15年が経過しており、設備の老朽化が進んでいることから、保守点検結果に基づき必要な修繕を行っていく必要がある。

### 全体総括

経常収支比率は黒字だが、一般会計繰入金に依存しており、使用料金で汚水処理費が賄えていない状況である。

当該事業は今後の拡大予定がなく、維持管理が主体であるが、設備の老朽化に伴い修繕等に係る経費の増加が見込まれることから、経営の立て直しが必要である。

このため、平成31年3月に策定した「伊賀市下水道事業経営戦略」に基づき、事業実施に必要な財源を確保するための適正な使用料金への見直し等、経営基盤強化の取り組みを進めていく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。